

広報ひらいずみが1位 全国へ

令和4年度県市町村広報コンクール「広報写真」(一枚写真)部門

令和4年度県市町村広報コンクール(県など主催)の審査会が1月18日、盛岡市内で開かれました。80点の応募があった広報写真(一枚写真)部門で、広報ひらいずみ780号(令和4年6月1日発行)の2~3ページの写真が1位となり、「令和5年全国広報コンクール」(日本広報協会主催)に出品されることになりました。当町が県コンクールで1位になったのは初めてです。

この写真は、3年ぶりに開催された春の藤原まつりのメイン行事「源義経公東下り行列」(平泉観光協会主催、4年5月3日)の一場面です。

当時は新型コロナウイルス感染症の影響で県内でもイベントなどの中止が相次いでいた中、マスク着用の呼び掛けなど、感染予防対策を講じながら開催にこぎつけた行事の様子を広く発信しようと掲載しました。

入賞は、町民の皆さんや読者の皆さん、平泉のため活動に励む皆さんのおかげです。これからも愛される広報紙の作成に努めていきます。



令和4年度県市町村広報コンクールの広報写真(一枚写真)部門で1位となった写真(本紙780号2~3ページ)

発掘最前線 平泉を掘る

柳之御所遺跡第84次発掘調査

平泉で最大級の建物跡を確認 県教委

柳之御所遺跡は、『吾妻鏡』の「平泉館」と推定され、奥州藤原氏の政庁・居館跡とされる堀内部地区と、奥州藤原氏の家臣などの屋敷跡とされる堀外部地区に分けられます。堀外部地区には、これまでの調査で柳之御所遺跡と中尊寺を結びとみられる道路跡と、その北側に4つの区画があることが分かっています。今年度の84次調査では、最も堀内部地区に近い区画④の内容を確認する



写真1 第84次調査区全景
写真上が北上川で、すぐ右側に堀跡があります。今回の調査区は堀外部地区でも堀内部地区に最も近い場所です。

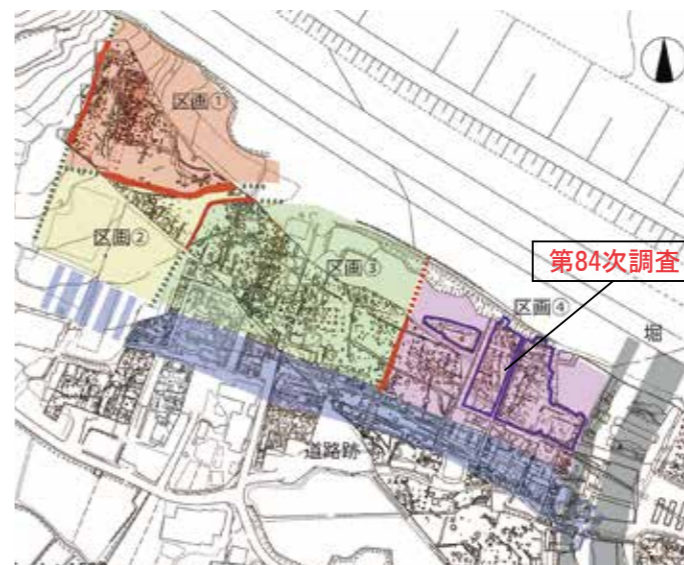


図1 堀外部地区の区画と第84次調査箇所

ための調査を実施しました。Ⅱ図1、写真1Ⅱ 84次調査で見つかった掘立柱建物跡9棟のうち1棟Ⅱ写真2Ⅱは、平泉町教育委員会による調査で見つかった建物の延長に当たります。25坪×10坪の規模で、かつての調査で想定されていた規模よりもさらに大きく、平泉でも最大級の建物跡であることが分かりました。この建物は、その規模からこの区画の機能を考える上で重要な遺構になると考えられます。

今回の調査で、井戸跡Ⅱ写真3Ⅱや溝跡、堀跡も確認されています。今後も奥州藤原氏の政庁跡とされる柳之御所遺跡の整備に向け、調査を継続する予定です。

(県教育委員会事務局生涯学習文化財課)



写真3 井戸跡
3基見つかり、いずれも深さ2m前後を測ります。整理中ですが、木製品が多く見つかりました。



写真2 最大級の建物跡
白線で引いた部分が建物跡です。手前で長方形状にくぼんでいる部分は、昭和46年の藤島亥治郎博士主宰の平泉遺跡調査会による調査区です。

黄金花咲く理想郷 道の駅平泉 情報 知っ得

問い合わせ先…道の駅平泉 ☎48-4795

手作りの漬物をどうぞ!

産直コーナーで取り扱う手作りの漬物は、人気商品の一つ。岩瀨洋子さん(17区)は、道の駅平泉のオープン当初から出荷しています。すべて無添加で「安心して食べてもらえるよう、衛生管理にも気を付けている」と語ります。

一番人気の「人参・大葉詰めきゅうり」をはじめ、ダイコンの酢漬Ⅱ写真左上Ⅱやしょうゆ酢漬Ⅱ同左下Ⅱ、「きゅうりのパリパリ漬Ⅱ同右下Ⅱが店頭に並びます。「買ってきたよ」「おいしかった」などの反応が励みになるという「あの漬物を食べた」と思ってもらえるよう、これからも提供したい」と笑顔で話します。



お手製の漬物を出荷する岩瀨洋子さん。写真右上の「人参・大葉詰めきゅうり」が一番人気で、ぴりっとした辛さと鮮やかな見た目が特徴

<レストラン> イチオシ!

歓迎会や送別会、懇親会に!
宴会承ります

道の駅平泉のレストランでは、宴会を承ります。歓迎会や送別会、懇親会など、予算や人数に合わせて調整します。時間やメニュー、飲み放題など、気軽にご相談ください。

■フリーマーケットの出店者を募集
道の駅平泉で3月25日(土)と26日(日)に開催するフリーマーケットの出店者を募集(先着10区画)しています。出店できる物は衣料品や日用雑貨、食器類などです。出店料(売り上げ金額の1割)の全額を、トルコ・シリア大地震の被災地に寄付します。詳しくは、道の駅にお問い合わせください。